

経営比較分析表（令和6年度決算）

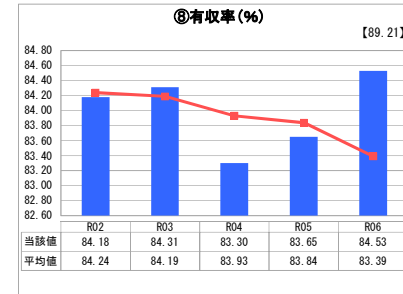
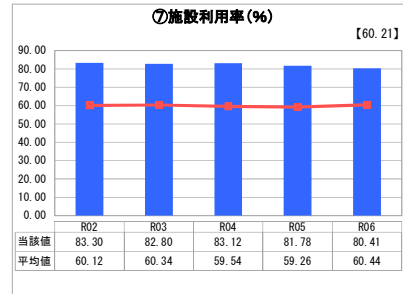
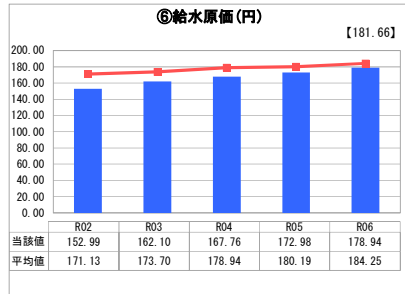
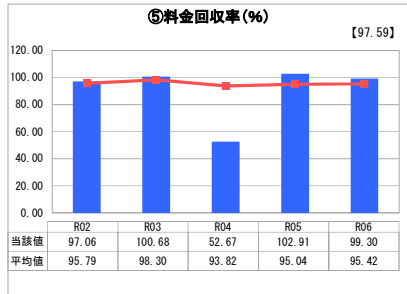
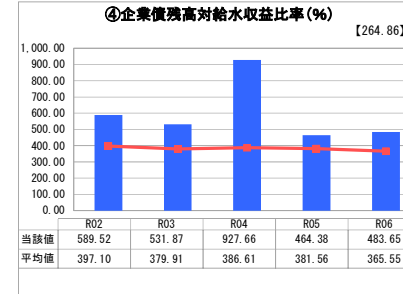
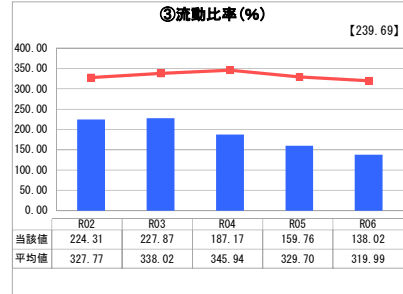
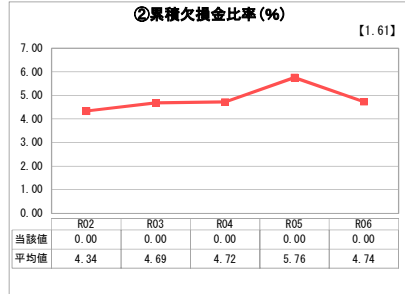
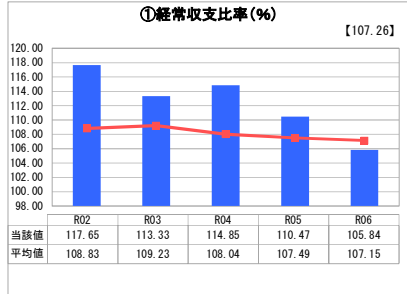
福岡県 岡垣町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	49.01	96.05	3,500	

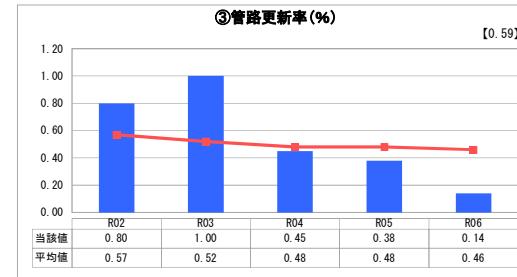
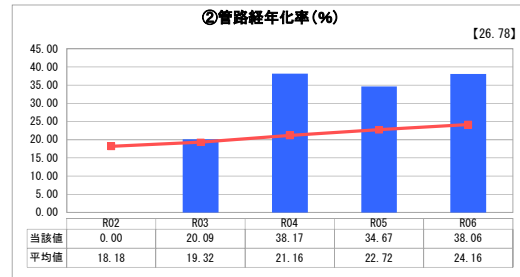
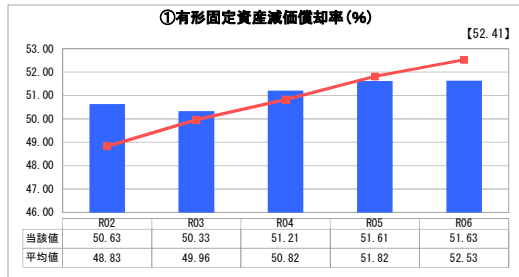
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
31,460	48.64	646.79
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
30,011	18.45	1,626.61

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

岡垣町の水道の約85%は地下水で賄われており、類似団体等と比較しても、給水原価は低い水準にあります。令和3年10月には料金改定（平均改定率22.424%）を行い、経営収支の改善にも取り組んでいるところです。

令和6年度決算は黒字決算となりましたが、純利益が減少したことにより、経常収支比率は類似団体平均値を下回りました。

流動比率は近年減少傾向にあり、類似団体平均値を大きく下回っています。これは、企業借入金償還金が増加し、現金預金が減少していることが影響しています。

令和6年度の料金回収率は99.30%と、健全とされる100%を下回りました。これは、漏水管の修繕費や建設改良費の増加により給水原価が上昇していることによるものです。

令和5年度から漏水調査を強化し、漏水管の修理に力を入れたことにより、有収率は前年度から改善し、類似団体平均値を上回りました。

2. 老朽化の状況について

令和6年度の管路経年比率は38.06%となり、類似団体平均値を大きく上回っています。一方で、管路更新率は0.14%と低く、管路の老朽化の進行に対し更新が進んでいない状況となっています。

令和2年度には配水管帳システム（マッピングシステム）を整備し、また令和5年度には中長期基本計画（施設更新計画）を策定しました。計画に基づき、将来における資産の更新需要を把握した上で、重要度・優先度を踏まえた更新投資に取り組むものです。

全体総括

岡垣町水道事業は昭和37年度から供用開始し、既に60年以上が経過し、管路等施設の老朽化が進んでいます。

令和6年度の決算では、料金回収率が100%を下回っており、経営の改善策を検討する必要があります。令和7年10月に中長期的な経営の基本計画である「岡垣町水道事業経営戦略」を改定しました。経営戦略に定めた経営の基本方針に基づき、水道料金の増額改定の検討などにより経営の健全化を図ることとしています。

能登半島地震を契機に策定した「上下水道耐震化計画」に基づく水道の強靱化にも努め、今後も良質で安全な水の安定供給を行ってまいります。